



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社ピーバンドットコム 上場取引所 東  
 コード番号 3559 URL https://www.p-ban.com  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)田坂 正樹  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)上田 直也 (TEL) (03) 3265-0343  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,574	6.2	195	△7.4	179	△15.6	135	△15.1
2019年3月期第3四半期	1,482	0.6	210	1.9	213	1.4	159	2.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	30.26	28.57
2019年3月期第3四半期	36.19	32.37

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,446	1,149	79.4
2019年3月期	1,378	1,027	74.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,149百万円 2019年3月期 1,027百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。  
 3. 当社は2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年5月期の1株当たりの年間配当金は、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

## 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	4.4	269	△9.3	272	△9.1	213	△9.4	47.57

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	4,496,806株	2019年3月期	4,472,614株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	74株	2019年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	4,470,866株	2019年3月期3Q	4,403,449株

(注)当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)における国内の電子工業は、新規成長産業であるIoT(インターネットオブシングス)や、宇宙、EV・自動運転、ロボティクス関連の伸長に加え、2020年に運用が開始される5G(第五世代移動通信システム)関連の新規需要の拡大が今後見込まれております。一方、米中通商問題の長期化や、中東情勢・日韓関係などによる不確実性の拡大から、製造設備への投資が控えられた影響等が特定の業界に出ており、当社が取扱う電子回路基板の国内生産額は前期比減で推移しております。

このような事業環境の中、当社は新規成長産業と既存産業の両面での拡大を目指し施策を進めました。当期は、新規ユーザーの獲得拡大に向け地方展示会への出展強化や、オンラインでの「インターネット広告(リスティング広告)」の最適化を実施しました。また、時代のニーズに合わせメタル放熱基板や高多層基板製造サービス等のラインナップを拡大しました。さらに、IT機器開発・製造を行う株式会社ジェネシスホールディングスとの業務提携、経営課題を解決するソリューションを提供する株式会社オロ(証券コード:3938)との業務提携により、IoTに特化したEMS(電子機器の一括受託生産)事業の展開を開始し、当社サービスの利用価値を高める施策を実施してまいりました。こうした取り組みにより、当第3四半期累計期間中には、3,589名(前年同期比116.3%)のユーザー登録を獲得しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,574,097千円(前年同期比6.2%増)、販売費及び一般管理費は事務所移転による一時的な賃料重複などが影響し、340,145千円(前年同期比7.9%増)、営業利益195,105千円(前年同期比7.4%減)、経常利益は179,804千円(前年同期比15.6%減)、四半期純利益は135,305千円(前年同期比15.1%減)となりました。

当期は、今後の売上成長を加速させるための投資フェーズと位置付け、社内のシステム開発力の強化や、スイス法人のシステム開発企業Swissmic SAと受発注工程の一部を自動化するシステムの共同開発による製造プロセスの効率化を進めております。また、当社は社会的信用度のさらなる向上と、企業価値向上を目的とし2019年12月27日に東京証券取引所第1部への市場変更を致しました。

以上の施策等により2021年3月期以降は売上拡大による利益貢献が、費用増を上回り、増益となる計画です。当社は、将来を見据えた持続的な企業価値の向上に努め、計画を実行してまいります。

なお、当社はプリント基板のEコマース事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して68,356千円増加し、1,446,591千円となりました。主な要因は、現金及び預金が101,597千円、有形固定資産が8,087千円、無形固定資産が13,468千円増加した一方、売掛金が50,008千円、商品が12,784千円減少したこと等によります。

##### (負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して53,688千円減少し、296,951千円となりました。主な要因は、賞与引当金が13,585千円増加した一方、未払法人税等が58,986千円減少したこと等によります。

##### (純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して122,044千円増加し、1,149,639千円となりました。主な要因は、利益剰余金が四半期純利益により135,305千円、譲渡制限付株式の発行や新株予約権の行使により資本金が4,599千円、資本準備金が4,599千円増加した一方、配当金の支払いにより22,381千円減少したこと等によります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	816,801	918,399
受取手形	-	150
電子記録債権	988	3,287
売掛金	338,058	288,050
商品	33,812	21,028
その他	6,209	25,649
貸倒引当金	△791	△728
流動資産合計	1,195,080	1,255,838
固定資産		
有形固定資産	3,020	11,107
無形固定資産	27,461	40,929
投資その他の資産		
その他	152,803	139,103
貸倒引当金	△129	△387
投資その他の資産合計	152,673	138,716
固定資産合計	183,154	190,753
資産合計	1,378,235	1,446,591
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	197,680	202,138
未払法人税等	62,929	3,942
賞与引当金	1,833	15,419
その他	77,333	63,324
流動負債合計	339,777	284,824
固定負債		
退職給付引当金	10,863	12,127
固定負債合計	10,863	12,127
負債合計	350,640	296,951
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	156,005	160,605
資本剰余金	122,005	126,605
利益剰余金	749,183	862,107
自己株式	-	△79
株主資本合計	1,027,194	1,149,239
新株予約権	400	400
純資産合計	1,027,594	1,149,639
負債純資産合計	1,378,235	1,446,591

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	1,482,037	1,574,097
売上原価	956,063	1,038,846
売上総利益	525,974	535,251
販売費及び一般管理費	315,380	340,145
営業利益	210,594	195,105
営業外収益		
協賛金収入	2,900	3,850
受取利息	3	4
為替差益	-	114
受取手数料	211	415
その他	342	190
営業外収益合計	3,458	4,574
営業外費用		
為替差損	818	-
株式交付費	-	208
市場変更費用	-	19,660
その他	155	7
営業外費用合計	973	19,876
経常利益	213,078	179,804
特別利益		
保険解約益	17,430	16,111
特別利益合計	17,430	16,111
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税引前四半期純利益	230,508	195,916
法人税、住民税及び事業税	66,320	56,204
法人税等調整額	4,825	4,405
法人税等合計	71,145	60,610
四半期純利益	159,362	135,305

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はプリント基板のEコマース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。